

～次代へつなぐ豊かな農業・農協と地域社会をめざして～

2015-上期-

JA佐渡の経営内容



写真：佐渡島の秋の味覚の代表「おけさ柿」

プロフィール

設 立	平成5年8月1日
本 店 所 在 地	新潟県佐渡市原黒 300-1
出 資 金	26 億円
総 資 産	1, 215 億円
組 合 員 数	15, 926 人 (正組合員 8,658 人・准組合員 7,268 人)
職 員 数	460 人
店 舗 数	本店、支店 9店、出張所 3店

(平成27年8月31日現在)

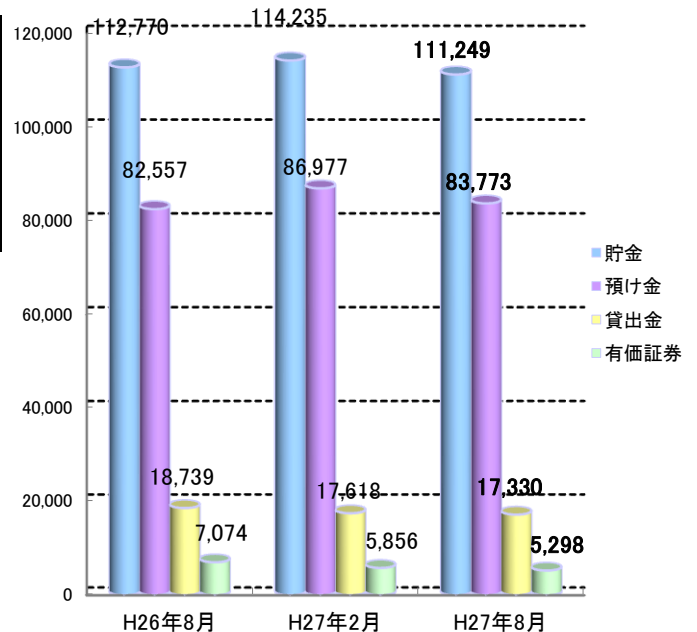
平成27年8月末 J A佐渡の経営状況は次のとおりです。

主要勘定の状況

(単位:百万円)

	H26年8月	H27年2月	H27年8月
貯金	112,770	114,235	111,249
預け金	82,557	86,977	83,773
貸出金	18,739	17,618	17,330
有価証券	7,074	5,856	5,298

- 貯金残高は計画比 98.2%、前年比 98.7%ともに下回りました。特に公金 11.5 億円の減少の影響が大きく、個人貯金についても前年比 99.9%で 10 億円減少しました。個人貯金の減少の主な要因として遺産相続による資金の島外流失等の影響があげられます。
- 預金残高は計画比では 95.8%と下回ったものの、前年比 101.5%となりました。収益面では、高利率の系統外定期預金を運用先としたこと等により計画比で 102.1%を計画を上回っています。
- 公金を除く融資新規実行計画に対して 58.2%、前年比 77.9%と低調な実績となりました。生活関連融資では、住宅ローンの新規実行が前年比 121.4%と増加したものの他行への借換防止の取り組みなど課題を残したことから、全体として計画未達となりました。
- 満期償還および金利低下のため債券の購入を見送った影響から、残高は計画に対して 1.4 億円下回っています。

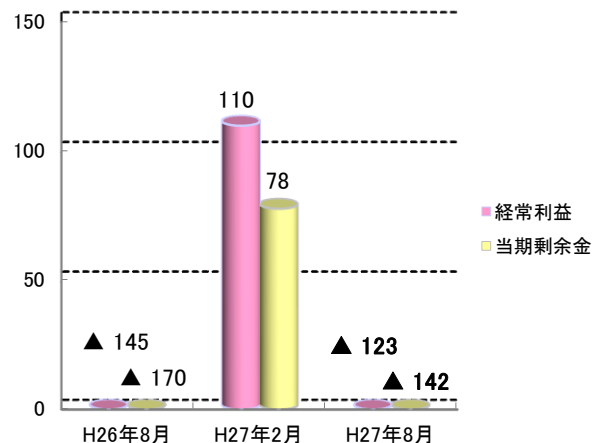


経営収支の状況

(単位:百万円)

	H26年8月	H27年2月	H27年8月
経常収益	4,196	8,979	3,943
経常費用	4,341	8,868	4,066
経常利益	▲145	110	▲123
当期剰余金	▲170	78	▲142
未処分剰余金	—	154	—

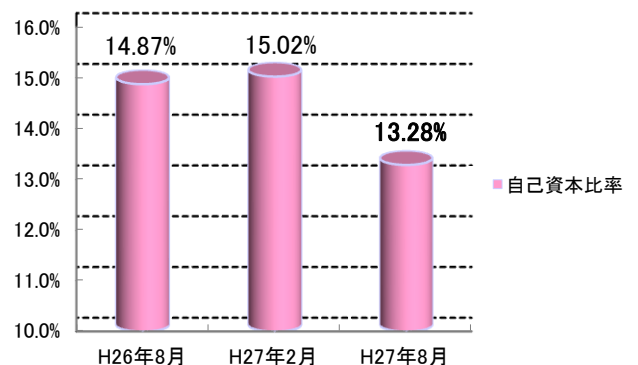
- 資金残高等の減少、低金利等の影響の中で信用事業の増収が相当難しい中、各事業とも着実な実績の積み上げと管理費圧縮などの総合的な経営に努めていますが、上半期利益は前年より良いものの計画には達しておりません。



単体自己資本比率(推計値)

(単位:百万円、%)

	H26年8月 (推計値)	H27年2月	H27年8月 (推計値)
自己資本額(A)	5,620	5,978	5,843
リスクアセット(B)	37,787	39,798	43,968
自己資本比率 (A)÷(B)×100	14.87%	15.02%	13.28%



8 月末の単体自己資本比率(推計値)は平成 27 年 2 月末の自己資本額・信用リスクアセット額・オペレーショナルリスク相当額を基準に、8 月末までの資産増減から推計した信用リスクアセット増減額により算出しています。なお、リスクアセット額の増加の主な要因は、自己資本比率告示(平成 27 年 3 月 27 日)に基づく算出基準改正の影響によるものです。

自己資本比率の算出方法について

○出資金や利益準備金、諸積立金等の自己資本額を「分子」に、資産のリスクに応じてウエイトづけをした総資産等(リスク・アセット)を「分母」として算出しています。

※リスク・アセットとは…万の場合、貸し倒れの危険性がある資産を項目ごとに貸し倒れのリスクに応じた掛目(リスクウエイト)を乗じた総額をリスク・アセットといいます。

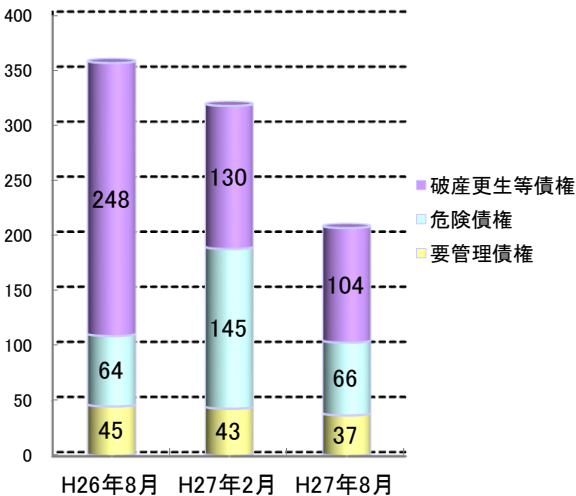
※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

不良債権の状況

金融再生法開示債権(法施工規則第4条の規定によるもの)

(単位: 百万円)

	H26 年 8 月	H27 年 2 月	H27 年 8 月
破産更生等債権①	248	130	104
危険債権②	64	145	66
要管理債権③	45	43	37
小計(①+②+③=A)	358	318	208
正常債権④	18,596	17,483	17,299
債権額合計(A+④=B)	18,955	17,802	17,507
債権額に占める開示債権の割合(A÷B×100)	1.88%	1.79%	1.20%



開示債権と保全の状況 (平成27年8月)

当組合では、厳格な自己査定を実施し、担保・保証等による保全のない部分に対しては適正な償却・引当等を行うなど、資産の健全性の確保に努めています。

(単位: 百万円)

自己査定と保全の状況					金融再生法開示債権 (経済債権を含む)		リスク管理債権	
債務者区分	残高A	担保等保全額B	貸倒引当金C	保全率(B+C)÷A	区分	残高	区分	残高
破綻先	23	81	74	100.0%	破産更生等債権	104	破綻先債権	12
実質破綻先	132				危険債権		延滞債権	157
破綻懸念先	98	85	12	100.0%	要管理債権	37	3か月以上延滞債権	—
要注意先	要管理先	67	0	95.6%			貸出条件緩和債権	37
	その他要注意先	1,114					合計	206
正常先	19,513				正常債権	17,299		
合計	20,953				合計	17,507		

リスク管理債権について

- 「破綻先債権」とは、未収利息を計上しなかった貸出金（貸倒償却を行った部分を除きます。以下「未収利息不計上貸出金」といいます。）のうち、法人税法施行令第96条第1項第3号イからホまでに掲げる事由または同項第4号に規定する事由が生じている貸出金です。
- 「延滞債権」とは、未収利息不計上貸出金であって、破綻先債権および債務者の経営再建または支援を図ることを目的として利息の支払を猶予したもの以外の貸出金です。
- 「3か月以上延滞債権」とは、債務者が利息または元本の支払いを3か月以上延滞している貸出金です。
- 「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建または支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、債権の一部放棄等を行っている貸出金です。

金融再生法開示債権について

- 「破産更生等債権」とは、金融再生法に規定する「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」のことで、破産・会社更生・再生手続等の事由により、経営破綻に陥っている債務者に対する債権です。
- 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状況には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権です。
- 「要管理債権」とは、「破産更生等債権」および「危険債権」を除く3か月以上延滞債権および貸出条件緩和債権です。
- 「正常債権」とは、債務者の財政状態および経営成績に特に問題がないもので、「破産更生等債権」「危険債権」「要管理債権」以外の債権です。

有価証券等時価情報

(単位:百万円)

保有区分	平成 26 年 8 月			平成 27 年 8 月		
	取得価格	時 価	評価損益	取得価格	時 価	評価損益
売買目的	-	-	-	-	-	-
満期保有目的	1,099	1,106	7	-	-	-
そ の 他	5,714	5,974	259	5,089	5,298	208
合 計	6,814	7,081	267	5,089	5,298	208

(注) 1. 有価証券の時価は期末時(2月末)における市場価格等によっております。

地域経済・くらしへの貢献

当ＪＡの資金は、その大半が組合員のみなさまなどからお預かりした、大切な財産である「貯金」を財源とし、これを生産拡大等の設備投資を必要とする組合員の皆様等に資金としてご利用いただいております。特に、佐渡においては、農業が島の経済に及ぼす影響が大きく、ＪＡは地域農業の維持発展を通して地域に貢献していくという「**農業メインバンク**」として社会的責任を担っております。

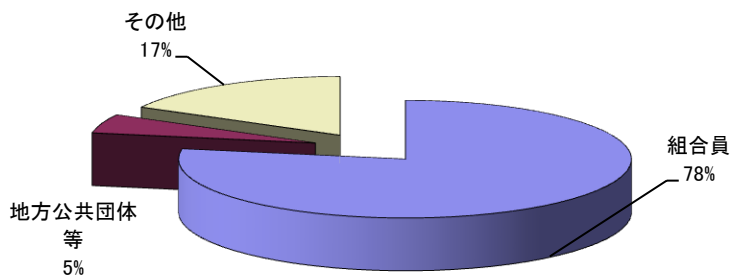
また、年金相談会の定期開催や、融資センターでの平日の営業時間延長や土日の融資相談など利便性の向上、各地域におけるキャッシュサービスコーナーの設置など、地域の皆様のくらしの支援活動に取り組みながら佐渡における「**生活メインバンク**」として機能発揮に努めております。

地域からの資金調達の状況

組合員・地域のご利用者の皆様に信頼され、大切な財産（貯金）をお預かりしております。

(単位:百万円)

種 類	残 高
組 合 員	86,520
地 方 公 共 団 体	5,778
そ の 他	18,950
合 計	111,249

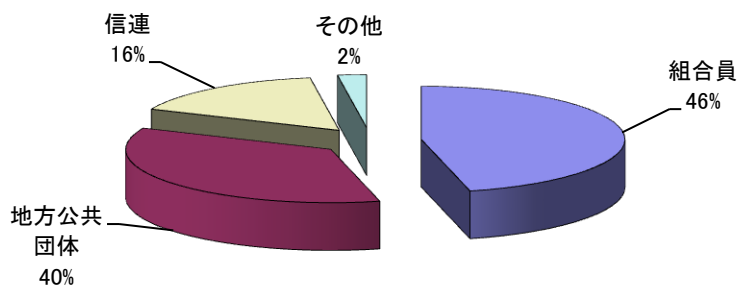


地域への資金供給の状況

組合員の皆様をはじめ、地域の皆様に必要な資金をご融資し、地域経済の発展に貢献しております。

(単位:百万円)

種 類	残 高
組 合 員	8,003
地 方 公 共 団 体	6,133
信 連	2,800
そ の 他	393
合 計	17,330



※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

農業メインバンク機能強化への取り組み

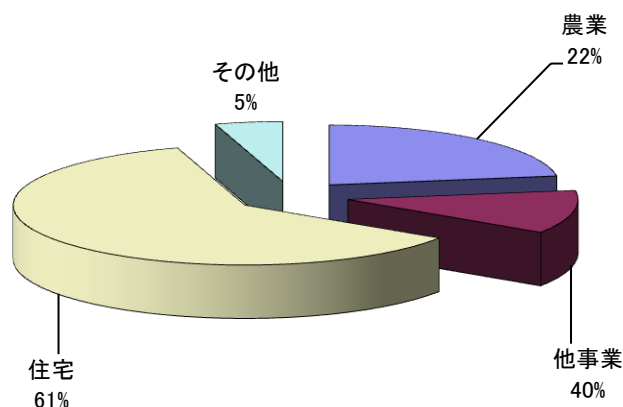
地域密着型金融事業を基本として、農業融資専任担当者による農業者・法人への訪問活動を実施し、ご融資の相談に応じる態勢を整えております。あわせてTAC（営農経済渉外活動）等他部門と連携した相談機能の充実をはかっております。こうした活動を円滑に実施するため「JAバンク農業金融プランナー」の資格取得を促進し、農業者に対する適切な資金対応ができる農業融資担当者の育成をはかっております。また、JAグループ新潟およびJA佐渡独自の利子助成制度による農業者の実質負担金利の軽減をはかるなど、農業者支援の取り組みを行っております。

貸出金の資金使途別等の残高

〔貸出金〕

（単位：百万円）

種 類	H26 年 8 月	H27 年 8 月
農業資金	1,700	1,639
その他事業資金	1,088	846
住宅関連資金	4,555	4,427
生活関連資金	1,147	1,109
その他	389	342
合 計	8,879	8,363



地方公共団体、信連貸付の残高を除いています。

社会的貢献活動への取り組み

当JAは、地域金融機関としてどなたからも身近で、親しまれ、選ばれる金融機関であるために経営ビジョンである「地域の未来を育むJA」をめざして、広く地域社会に貢献すべく、次のような活動に取り組んでいます。

- ◆毎年3月と8月には「環境美化ボランティア」を実施し、組合員・全役職員参加による全島的な美化活動に取り組んでいます。また、助け合い組織「ほほえみ会」の活動や、青年部や女性部組織による福祉施設等でのボランティア活動や高齢者の意向位の間「ほほえみ広場」を毎年実施しています。
- ◆青果市場などと毎年11月3日に共同開催している「ふれあいアッセまつり」や、各支店を中心に実施する夏祭り・収穫祭など地域住民とのふれあいなど地域貢献活動を大切にしています。
- ◆佐渡市認証米制度を通じた消費者との交流や朱鷺環境整備募金の取り組み等行政と一体となり佐渡島のPRに取り組んでいます。



写真：「ふれあいアッセまつり」での募金活動



写真：ほほえみ広場での高齢者健康教室「笑いヨガ」



写真：環境美化ボランティア（3月、8月）

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

◆JA関連施設での太陽光発電設備の導入など二酸化炭素削減、電力コスト削減をはかるとともに、夏場の省電力PRのための各施設での緑のカーテンの設置などに取り組んでいます。

◆電気自動車の普及推進を図るため金井・両津地区の「セルフ給油所」に電気自動車の急速充電器を設置し、環境PRを行っています。



写真：電気自動車急速充電器と畑野農業倉庫の太陽光パネル

これから地域と共にあるJAを目指して

当JAでは、営農・金融事業のほかにも各種事業活動やグループ会社の活動を通じて、組合員をはじめ地域住民の暮らしの応援を行っております。

◇Aコープ店：食料品を中心とした「暮らしの拠点」として、各地区に7店舗、佐渡総合病院にそれぞれ売店を設置しております。地場産農産物の販売などで、地域の暮らしと農業生産活動の橋渡し役として店舗運営を行っております。

◇農産物直売所：昨年8月にオープンしたJA直営直売所「新鮮空間 やらんか舎」と「菜菜きて屋まの」、Aコープ各店でのインショップ方式による産直コーナーを通じて、農家の皆様と一緒に地域の消費者へ安全、新鮮な品物をお届けしています。

◇セレモニーホール：増加するホール葬需要に応えるために、グループ会社の運営により島内2か所にセレモニーホールを設置しております。また、自宅葬や出張葬など幅広いニーズへの対応を行っております。

◇セルフスタンド：本土に比べ高い島内のガソリン等の価格の引き下げの牽引的役割として、セルフ方式のガソリンスタンドを島内3か所に設けております。

◇総合ポイント制度：各種事業のご利用に応じて会員の皆様へのポイントによる還元サービスを行っております。現在会員数は約27,000名のご加入をいただいております。



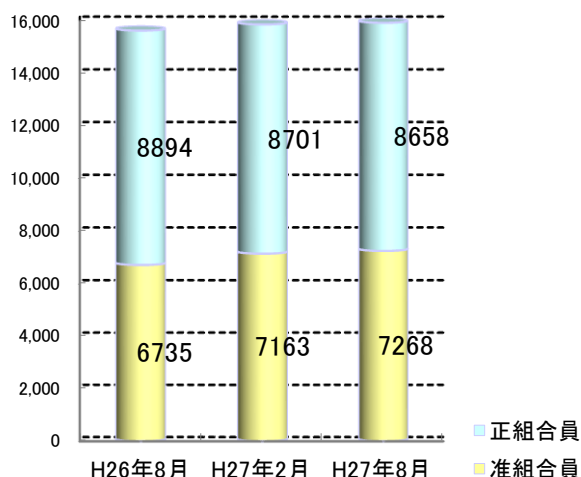
写真：農産物直売所「新鮮空間やらんか舎」

★このようにJA佐渡は組合員、地域の皆様の営農と暮らしに密着した様々な事業とともに、組合員加入運動に取り組んでおります。

組合員数の推移

(単位：人)

	H26年8月	H27年2月	H27年8月
正組合員	8,894	8,701	8,658
准組合員	6,735	7,163	7,268
組合員計	15,629	15,864	15,926



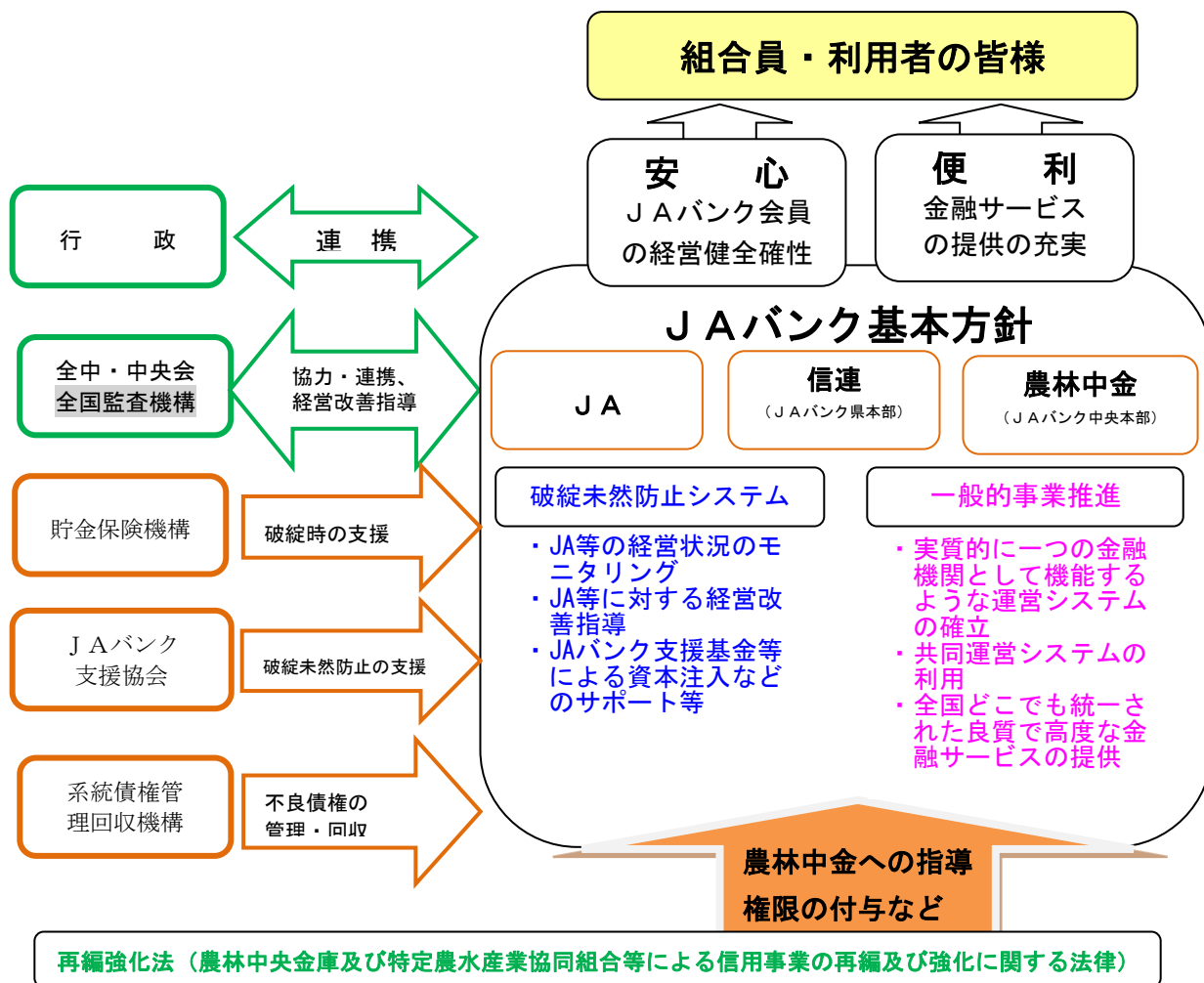
※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

皆様の大切な貯金を安心バンク、JAバンクが守っています。

JAバンクシステム

JAバンクは、JAバンク会員（JA・信連・農林中金）で構成するグループの名称であり、組合員・利用者のみなさまに便利で安心な金融機関としてご利用いただけるよう、JAバンク会員が一体的に取り組む仕組みを「JAバンクシステム」といいます。

「JAバンクシステム」は、JAバンクの信頼性を確保する「破綻未然防止システム」と、スケールメリットときめ細かい顧客接点を活かした金融サービス提供の充実・強化を目指す「一体的事業推進」の2つを柱で成り立っています。



JAバンク・セーフティーネット

貯金保険制度

- 貯金者を保護するための国の公的な制度で、貯金保護の範囲は「預金保険制度」と同じです。
- 貯金業務を取り扱う全てのJA・県信連・農林中央金庫などが加入しています。

+

破綻未然防止システム

- 全国のJAバンクが協力して個々のJAを支援する、独自の制度である「相互援助制度」を一層充実・強化しています。
- 「破綻未然防止システム」とは、JAの経営状況のチェック（モニタリング）、経営改善への取り組み、「JAバンク支援基金」によるサポートを行う仕組みです。

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。



佐渡農業協同組合

編集 佐渡農業協同組合 総務部

〒952-8502

新潟県佐渡市原黒300番地1

TEL 0259-27-6161

FAX 0259-27-6170

Eメール kikakuka@ja-sado-niigata.or.jp

ホームページ <http://www.ja-sado-niigata.or.jp/>

JA佐渡

検索

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。